



学校教育目標

児童生徒一人一人の自己実現を目指し、強みや可能性を最大限に高め、主体性と共に心豊かに生きる力を育成する。

- あいさつのできる元気な子
- じょうぶでがんばりのきく子

- みんなと仲よく学べる子
- 自ら考え行動できる子

〈小学部〉

日常生活に必要な知識・技能を身に付け、進んで活動に取り組み、教師や友達とかわりながら、自分らしく生活できる児童を育てる。

- ・言葉や身振り、表情であいさつや返事をする児童
- ・仲良く活動に取り組める児童
- ・元気でがんばれる児童
- ・進んで学ぼう、やってみようとする児童

〈中学部〉

生徒一人一人が自分の力を存分に発揮し、学ぶ意欲や働く喜びをもって、仲間とともに豊かに生活できる生徒を育成する。

- ・自分なりの方法であいさつをしたり気持ちを伝えたりできる生徒
- ・協力して仲良く様々な活動に取り組める生徒
- ・自分の役割や仕事を、最後までやり通そうとする生徒
- ・できること、好きなことを増やし、自ら学ぼうとする生徒

国・県の方針

- ・学習指導要領
- ・第3期群馬県特別支援教育推進計画
- ・群馬県教育ビジョン
- ・学校教育の指針
- ・学校教育指導の重点
- ・R7提言 等

目指す学校像

- 子どもが生き生きと学ぶ魅力ある学校
- 地域から信頼され、地域が誇る学校
- 子どもが通いたい、保護者が通わせたいと思う学校

目指す教職員像

- 高い専門性を追究し合える教職員
- 温かく、思いやりにあふれる教職員
- 企画力、機動力を発揮できる教職員

保護者・地域からの期待

- ・一人一人の実態を的確に把握した、ニーズに応じた教育
- ・良さや強みを見だし、可能性を伸ばす専門性の高い特別支援教育
- ・将来の自立や社会参加に向けた一人一人の成長
- ・特別支援教育にかかる相談支援の充実

実現に向けた本年度の取組の重点

<主体的な学び、活躍の場の設定>

- ① 褒め、認め、励まし、寄り添いながら、児童生徒一人一人の良さや強みを見出し、自己肯定感を高める。
- ② 自分で考え→学び合い→振り返る「個別最適な学びと「協働的な学び」の実践を推進する。
- ③ 児童生徒一人一人の「やってみたい」「できるようにになりたい」を大切に、「できた」「わかった」が実感できる授業実践に取り組む。
- ④ 児童生徒が主役となるICTを活用した授業実践に取り組む。

<専門性の向上>

- ① 全ての教員が特別支援教育のスペシャリストとして力を発揮できるようアップデートを図る。
- ② 外部専門家との連携による実践研修を推進する。
- ③ アセスメントに基づいたチーム支援の実践を推進する。

<保護者や地域と共にある学校>

- ① 家庭との緊密な連携を心掛け、子どもの将来を見据えた支援方針や方法を明確に伝え、共通理解を図ることで、きめ細かな指導支援を行う。
- ② リスペクトで繋がる人間関係づくりに取り組む（子ども・保護者・関係機関）。
- ③ 地域の幼・保・小中学校への相談支援をより一層推進し、センター的機能の充実に努める。

<自立と社会参加に向けた教育の充実>

- ① 将来の自己実現に向け、より豊かな生活が送れるよう、子どもが自力でできることを増やす。
- ② 縦割りグループや異学年グループによる学習活動を通して、ふれ合い・関わり合い・学び合うことでコミュニケーション能力の向上を図る。
- ③ きめ細かなPDCAによる居住地校交流・学校間交流・地域交流の実践を推進する。

<健康で安全な学校生活の充実>

- ① 日常的な健康観察を徹底し、児童生徒の少しの変化も見逃さず、即対応する。
- ② 保護者・医療機関との緊密に連携し、児童生徒一人一人の健康状態の情報共有に努める。
- ③ ヒヤリハット事例の共有等を通して、職員の防災意識・危険予知能力・危険回避能力を高める。

<共に支え合える職員集団づくり>

- ① 自分自身と働く仲間のウェルビーイング向上とを働きやすい職場づくりを目指す。
- ② いつでも相談しやすく、助け合える、明るく、受容的な職員間の雰囲気づくりを推奨する。
- ③ 相互にモチベーションを高め合い、エージェンシーを発揮し合う。